

地震・津波タイムライン

南海トラフ地震が

自宅(マンション10階)に津波の危険性がない家族
家族構成:父・母・わたし・弟(0歳)



日ごろの準備

地震のゆれがおさまったら

自宅にいるとき

①まずは、「自宅にいるとき」から考えてみよう!

被災リスクの確認

津波の危険性

あり () m
なし



高潮・津波災害ポータルひろしま
※非常持出品や備蓄品、家族との連絡方法は(うら面)でチェック

津波の危険性はなく、鉄筋コンクリートの頑丈なマンションに住んでいます

外出しているとき

学校(名前: わたし)

職場(名前: お父さん)

(じゅく)(名前: わたし)

被災リスクの確認

津波の危険性

あり (1~2) m
なし

被災リスクの確認

津波の危険性

あり () m
なし

被災リスクの確認

津波の危険性

あり (2~3) m
なし

Point

自宅に居住の継続ができる状況であれば、在宅避難も可能です
※古い建物の場合は耐震性が低い可能性があります(一つの目安は1981年5月31日以前)

Point

しかし、自宅の損傷や火災などで避難が必要になることも考え、津波の危険性がなくても避難先は考えておくようにしましょう
※必ずしも避難所に行くのではなく、まずは学校のグラウンドや公園等の指定緊急避難場所で一時的に安全を確保することも有効です

Point

外出先に危険がある場合は、まず、その場や周辺等で安全を確保できる場所を探しましょう

どこへ避難?

避難先 自宅

避難の方法 (移動なし)
避難にかかる時間 (0 分)
家族と共有しておくこと

- 危険を感じたときは〇〇中学校グラウンドに避難!
- 自宅・外出中どちらでも、家族に自分の状況を連絡する(〇〇か災害用伝言版)



避難先 △△△

避難の方法 (徒歩)
避難にかかる時間 (10 分)
家族と共有しておくこと

先生の指示にしたがって行動する

仕事などで家族全員が一緒に過ごせないこともあるかもしれません

■ 待ち合わせ場所(例:小学校や公園など)

家族と共有しておくこと

連絡が取れるときは、いつ帰宅予定かを連絡して帰宅する

避難先 ○〇会社

避難の方法 (移動なし)
避難にかかる時間 (0 分)
家族と共有しておくこと

災害が起こると仕事になるので帰宅しない
自宅にいる場合も出勤(徒歩だと2時間)

自宅

避難先 □□広域公園

避難の方法 (徒歩)
避難にかかる時間 (20 分)
家族と共有しておくこと・避難が間に合わないとき、〇〇〇(浸水時緊急退避施設)に逃げる

安全を確保した後に家族に状況を連絡する

Point

避難が間に合わない、身体の具合により、高台への避難が難しい方などが一時的に緊急退避するために浸水時緊急退避施設や津波避難ビルが指定されている場合があります



②次に、「外出しているとき」を考えてみよう!

